

風しん患者が増えています！

●風しんとは？

風しんウイルスによっておこる急性の発疹性感染症です。潜伏期は2～3週間で、主な症状として発疹、発熱、リンパ節の腫れが認められます。

風しんウイルスは患者の飛沫（唾液のしぶき）などによって他の人にうつります。

●「先天性風疹症候群」とは？～妊娠中は気を付けて！～

妊婦、とくに妊娠初期の女性が風しんにかかると、赤ちゃんにも感染し、耳が聞こえにくい、目が見えにくい、生まれつき心臓に病気があ、発達がゆっくりしているなど「先天性風疹症候群」という病気にかかってしまうことがあります。妊娠24週頃までは人込みを避け、家族や職場の同僚に風しん患者が発生したら、かかりつけの医師にご相談ください。



●予防接種が大切です

・1歳児（第1期）の方 ・小学校入学前1年間の幼児（第2期）の方	予防接種法に基づく麻しん風しん（MR）混合ワクチンの対象となります。期間内に忘れずに接種しましょう。
・妊娠を希望される方 ・妊娠する可能性の高い方	子どもの頃に接種していても抗体価が低下している可能性があるため、あらかじめ予防接種で風しんに対する免疫を付けておくことが重要です。（妊娠中は風しんの予防接種が受けられません。また、接種後2か月は妊娠を避けることが必要です。）
・その他の方	本人だけでなく周囲の人も予防接種で免疫を付けて、妊婦を風しんの感染から守ることが大切です。 家族で風しんにかかったことがない方、風しんの予防接種を受けていない方、どちらも不明な方は、是非とも予防接種をご検討ください。

※特に昭和54年4月2日～平成7年4月1日生まれの男女は接種率が低く、昭和54年4月1日以前生まれの男性は子どもの頃に定期接種のチャンスがなかったので、風しんに感染しやすい状況にあります。

この機会に風しん予防接種を受ける事をご検討下さい。

※左のページに接種費用助成のお知らせがあります。対象や助成費用などを確認して下さい。

※対象以外の方は全額自己負担となります。予防接種や抗体検査の費用などについては、町内の場合、枝幸国保病院（62-2111）、歌登診療所（68-2341）にお問合せ下さい。

◆◆◆お問合せ先◆◆◆

保健福祉課保健予防グループ
歌登総合支所

保健師
保健師

電話：62-4658

電話：68-2111